

小中学生の意見聴取に関する報告書 (速報版)

令和6年(2024年)2月
朝霞市

目次

I. 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 回収結果.....	1
II. 調査結果.....	2
問1 朝霞市の好きなところ・朝霞市への要望について.....	2
問2 10～20年後の朝霞市での過ごし方について.....	5
総括.....	8

I. 調査概要

1. 調査の目的

この小中学生の意見聴取は、第6次朝霞市総合計画を策定するに当たって、まちづくりに対する市内小中学生の意向を把握し、基礎資料として活用するために行ったものである。

2. 調査の方法

- | | |
|--------|--|
| ① 調査対象 | 市内小学校10校の5年生及び市内中学校5校の2年生 |
| ② 対象者数 | 2,385人（令和6年1月時点） |
| ③ 調査方法 | GIGA タブレットを通じたアンケートの配信・回収
（Zoho Survey を使用） |
| ④ 調査期間 | 令和6年1月15日配布、令和6年1月22日締切 |

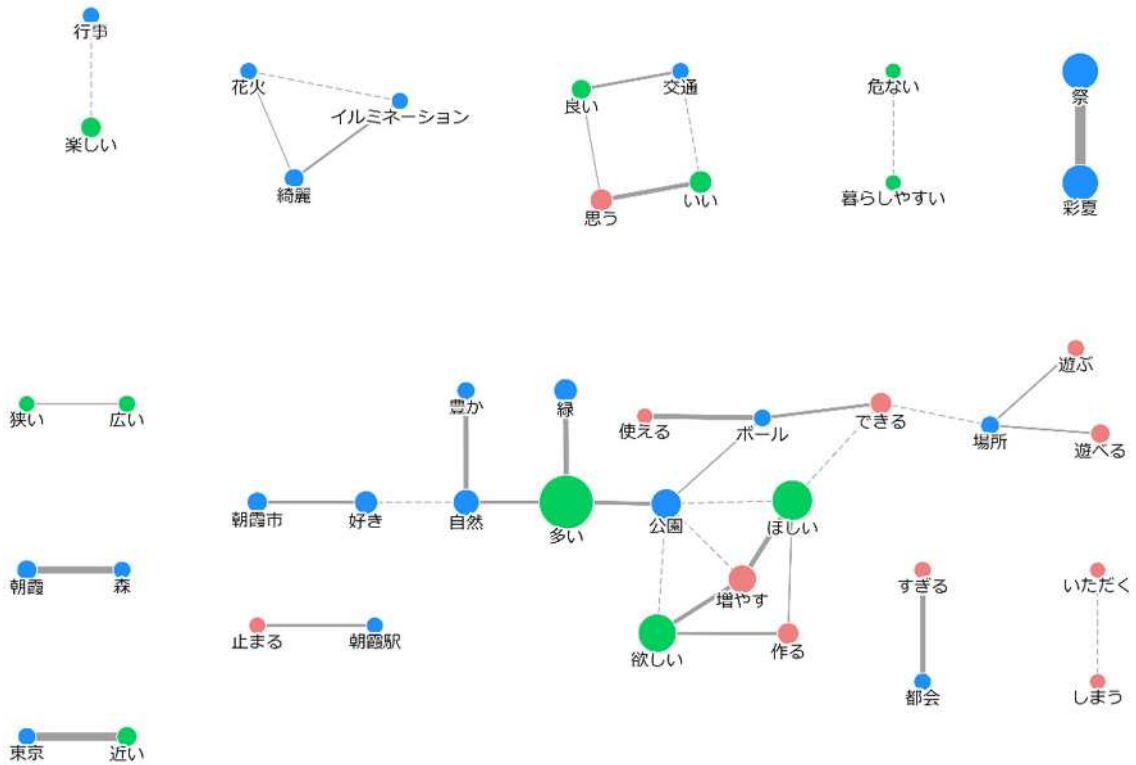
3. 調査項目

- ① あなたの考える、朝霞市の好きなところ、もっとこうなって欲しいと思うところ
- ② 10～20年後、大人になったあなたは、朝霞市でどんなふうに過ごしたいか
（いずれも自由回答形式）

4. 回収結果

- | | |
|----------|---------|
| ① 調査票配布数 | 2,385 票 |
| ② 有効回収数 | 1,381 票 |
| ③ 有効回収率 | 57.9% |

(2) 共起キーワード分析



共起キーワードとは、文章中の出現頻度が高い単語のうち、よく一緒に使われている単語を程度の強さで判断し、線で結んだ図のこと。円の大きさは、出現頻度の高さを表し、円同士を結ぶ線の太さは円同士の結びつきの強さを表す。

単語同士の結びつきの強さをみると、「彩夏—祭」「公園—多い」「緑—多い」「自然—多い」「朝霞—森」「東京—近い」であった。

全体として、朝霞市の自然や公園、彩夏祭などの行事に関する意見が多く、「朝霞市—好き」という単語同士の結びつきからわかるように、朝霞市に対して肯定的な意見が多かった。一方で、公園を増やしてほしいといった、朝霞市に対する意見・要望も寄せられた。

(3) 単語出現頻度

より具体的に自由記述回答の特徴を理解するため、出現頻度の高い上位30単語を下表にまとめた。回数のおえ方については、当該単語が出現したことをもって1回とする。そのため、同一回答者の発言の中で繰り返し使用されている単語があった場合、複数回数えられていることに留意する。

順位	頻出単語	出現回数	順位	頻出単語	出現回数
1	欲しい (ほしい)	800	16	朝霞市	101
2	多い	644	17	朝霞	98
3	祭	442	18	綺麗	90
4	彩夏	436	19	楽しい	87
5	公園	308	20	駅	85
6	自然	221	21	近い	76
7	増やす	215	22	良い	72
8	緑	166	23	場所	69
9	好き	161	24	祭り	68
10	いい	121	25	遊べる	66
11	思う	118	26	お祭り	62
12	さい (さいかさい)	117	27	東京	57
13	イベント	111	28	豊か	56
14	できる	105	29	森	47
15	作る	102	30	施設	46

最頻出の単語は、「ほしい」で800回であり、次点で「多い」が644回、「祭」「彩夏」がいずれも400回以上であった。また上位30単語のうち、彩夏祭をはじめとした朝霞市の行事に関する単語の出現回数は1,170回、朝霞市の自然に関する単語の出現回数は、434回であった。

以下、実際にどのように用いられたのか具体例を示す。

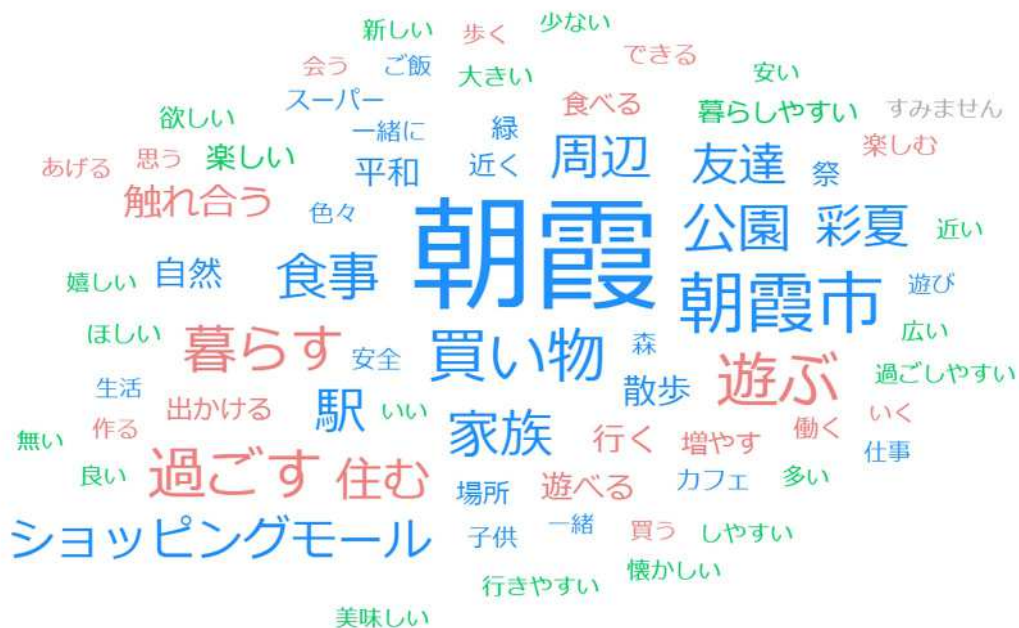
【原文例】

- 東京に行きやすいところ。田舎すぎず都会過ぎないところ。
- 東京に近くて交通が便利なところが良いと思う。
- 緑が多くて公園がたくさんある。
- 緑が多く、彩夏祭でも色々なあそびや食べ物があって楽しい。
- 毎年、イルミネーションがキレイで毎年少しずつ違う所がいい。
- 朝霞の森などの自然や工作に触れることができるところが好き。
- ボール使用可能の公園を増やしてほしい。
- ショッピングモールやゲームセンターなど長時間居られて遊べるところが欲しい。
- 本屋さんをもっと増やしてほしい。

問2 10～20年後の朝霞市での過ごし方について

問1と同様に、「10～20年後、大人になったあなたは、朝霞市でどんなふうに過ごしたいか」について、自由回答全体の傾向を把握するため、テキストマイニングを用いて回答結果を分析した。

(1) ワードクラウド分析

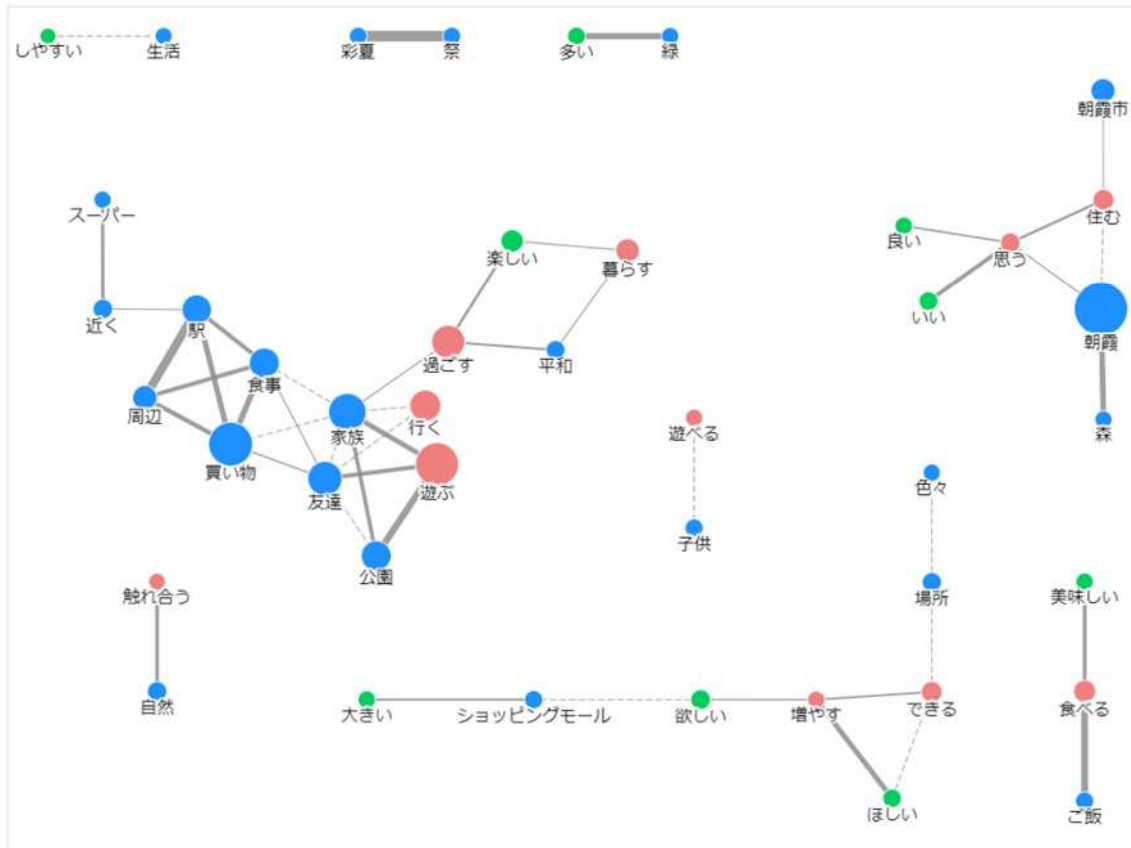


(上図の青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞を示す)

ワードクラウドとは、文章における単語の特性を視覚的に表現した図のことを指す。上図では、文字のサイズが大きいほど、その単語の文章における重要度や出現頻度が高いことを示す。

最も大きな単語は「朝霞」となっている。次いで、名詞では「買い物」「ショッピングモール」「公園」「食事」「家族」「友達」などが大きい。動詞や形容詞は、10～20年後の具体的な過ごし方に関して、「過ごす」「暮らす」「遊ぶ」「住む」「触れ合う」といった単語が多かった。

(2) 共起キーワード分析



共起キーワードとは、文章中の出現頻度が高い単語のうち、よく一緒に使われている単語を程度の強さで判断し、線で結んだ図のこと。円の大きさは、出現頻度の高さを表し、円同士を結ぶ線の太さは円同士の結びつきの強さを表す。

単語同士の結びつきの強さをみると、「公園－遊ぶ」「家族－遊ぶ」「友達－遊ぶ」「食事－買い物」「駅－周辺」であった。また、「朝霞－森」「自然－触れ合う」の結びつきもみられた。

全体として、家族や友達と買い物や食事をしたたり、公園で遊んだり、自然や緑に親しみながら過ごしたいという意見が寄せられた。

(3) 単語出現頻度

さらに自由記述回答の特徴を把握するため、回答のうち、よく使用された単語を頻出単語として上位 30 単語を下表にまとめた。

順位	頻出単語	出現回数	順位	頻出単語	出現回数
1	朝霞	467	16	食べる	63
2	買い物	350	17	住む	53
3	遊ぶ	271	18	できる	50
4	家族	269	19	近く	49
5	友達	230	20	場所	46
6	食事	178	21	自然	45
7	公園	176	22	散歩	42
8	過ごす	173	23	思う	41
9	駅	171	24	平和	39
10	行く	151	25	ショッピングモール	31
11	周辺	107	26	一緒に	30
12	朝霞市	104	27	いい	30
13	暮らす	78	28	子供	29
14	欲しい (ほしい)	70	29	ご飯	29
15	楽しい	67	30	一緒	26
			30	買う	26

最頻出の単語は「朝霞」で 467 回であった。このほか、「買い物」「遊ぶ」「家族」「友達」「食事」等、出現回数が 100 以上の単語が 12 単語みられた。

以下、実際にどのように用いられたのか具体例を示す。

【原文例】

- 家族と楽しくショッピングしたいし、外食とか、遊園地とか遊べるところに子供を連れてって一緒に遊びたい。
- 友達と朝霞市の駅で、買い物や食事がしたい。
- 家族と公園で遊びたい。
- 美味しいご飯を食べたい。友達と楽しく過ごしたい。

総括

小中学生に「あなたの考える、朝霞市の好きなおところ、もっとこうなって欲しいと思うところ」、「10～20年後、大人になったあなたは、朝霞市でどんなふうに過ごしたいか」について聞いたところ、朝霞市の良さ、改善点、大人になったときの過ごし方についてたくさんの意見が寄せられた。

小中学生からは、朝霞市の好きなおところとして、緑が多く自然が豊かなこと、東京から近く利便性が高いこと、彩夏祭などイベントが多く楽しいといった回答がみられた。一方で、公園を増やしてほしいなどの要望も挙げられた。

また、大人になったら、朝霞市でどんなふうに過ごしたいかについては、家族や友人と買い物や食事をしたり、朝霞の森などの自然に親しみながら過ごしたいといった回答がみられた。